

研究成果物等活用状況調査報告

■ 令和元年度 研究成果物等活用状況調査について

神奈川県立総合教育センターでは、今日的な教育課題について、学校現場で生きる実践的な調査・研究を実施し、研究成果物等として冊子・Webページの形で県内の学校に配付し、普及を図っています。

ここでは、県内の小、中、高、特別支援学校に御協力いただいて実施した、各校での活用状況についての調査結果をまとめました。今後の研究成果物等の活用につなげていただければ幸いです。

■ 研究成果物等の活用状況

高等学校初任者のための授業づくりガイド 平成31年度版



いただいたコメントより

授業づくりに当たっての心構え、具体的な授業計画や実践方法について分かりやすく解説されている。(高)

学びにくさの観察点や授業改善の手立てなどが端的に書かれている。(特)

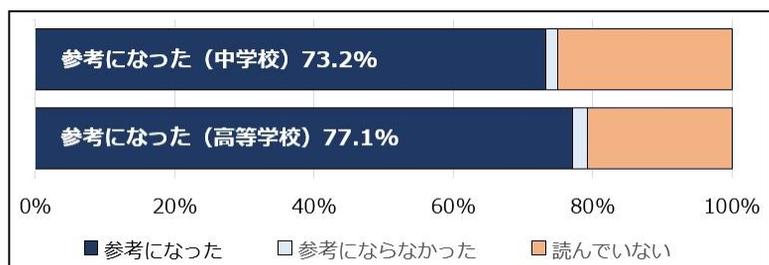
支援を必要とする児童・生徒の教育のために (平成31年3月版)



ケース会議の留意点、支援チームの役割分担等について知ることができた。(中)

インクルーシブ教育、ユニバーサルデザイン等、教育の今日的課題がまとめられている。(特)

実感につなげよう！今求められる授業改善



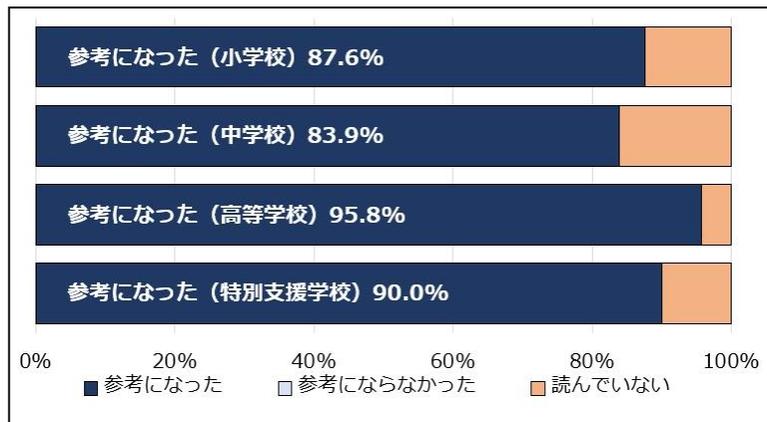
学校の実態に合わせて研究テーマを決め、授業実践に取り組むことにより、授業改善の実感が得られるという点が参考になった。(中)

「協議の一貫性」や「授業づくりのポイントの教職員間での共有」などのポイントについて、教職員に共通理解をもたせる一助となった。(高)

これらの研究成果物等は、総合教育センターHPのトップから、「教育研究」→「研究成果物等刊行物」へ進むと、ダウンロードが可能です！



インクルーシブな学校づくり Ver.2.1



より良い人間関係づくりの参考例があり、学級づくりを考える上での参考になった。(小)

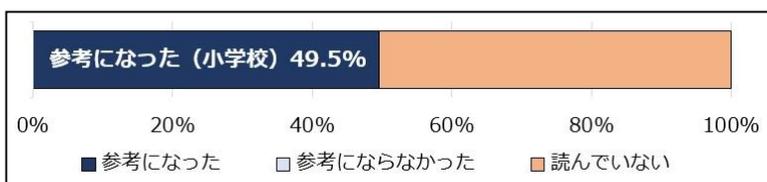
高校への進学を考えている生徒への情報提供などの面で参考になった。(中)

多様化する生徒への支援について、職員の共通理解を図ることに活用した。(高)

県が推進するインクルーシブ教育の理解と周知に活用できた。(特)

自らのいのちを守るために

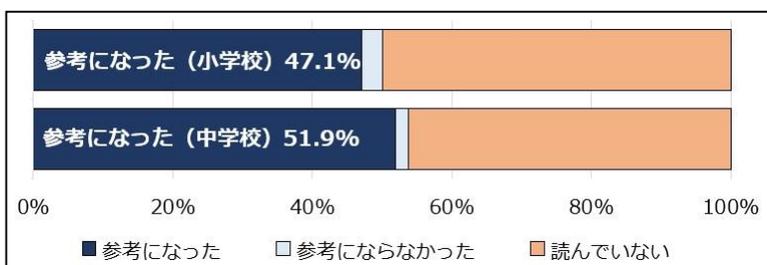
～援助希求態度の育成 / 危険予測・回避能力の育成～



命を守るということ、援助希求的態度と危険予測・回避態度に分けて整理することで、全体像をつかむことができた。(小)

小中一貫教育の推進に向けて

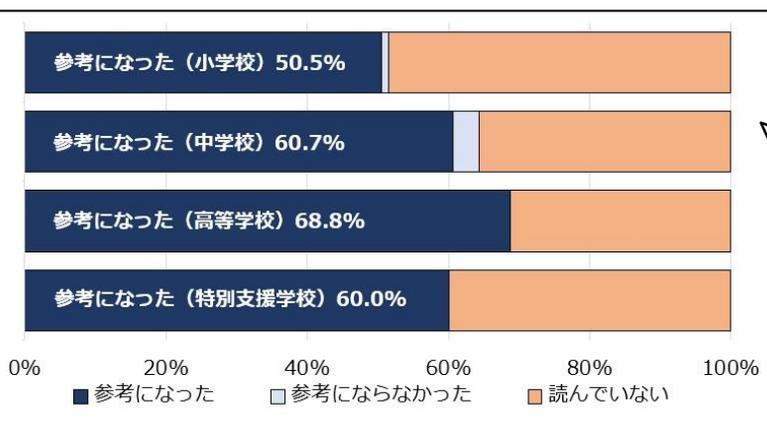
～調査研究協力校区 実践事例集～



幼小中一貫教育を進めているが、取組のマンネリ化が見られるため、新たな取組を計画するに当たっての参考とした。(小)

各地区の状況がよく分かり、自校と比べながら、何が不足しているのかなどを把握するのに参考になった。(中)

■平成30年度 研究集録 第38集の活用状況



研究主題や組織図など、研究の根幹を考えるとときの参考にした。(小)

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた本校研修の実施のために参考になった。(高)

いただいた御意見を参考に、総合教育センターでは、今後も、授業改善、人材育成、児童・生徒理解、支援教育など、学校のニーズに合わせた研究成果の発信に努め、「かながわの学び」を支援してまいります。

